



南富良野町立南富良野西小学校 学校だより

令和5年9月29日発行

第6号

西小っ子

サーバントリーダーシップ

校長 加藤 幸一

子どもが言うことを聞かないとき、どうしますか？ 時間が無いときなどは、大きい声で「いいから言うことを聞きなさい！」と怒ってしまうことはありませんか。恐怖による支配は、そこからは何も生まれません。

子どもがこれからの社会を生き抜くためには、エージェンシーが必要だとされています。エージェンシーとは、「自ら考え、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力」と文部科学省は説明しています。その続きに、「子どもがエージェンシーを身に付けるためには、校長を含めた教職員がエージェンシーを身に付けなければならない」となっています。そして、教師はファシリテーター役として、子どもたちに知識や解決策を提示するのではなく、子どもがもつ知識や感情を尊重し、寄り添い、問いかけることが必要だと説いています。授業においても、子ども自らが新たなアイデアや問題解決策を発見できるようにすることが重要であり、このことが「深い学び」ができる環境づくりとなり、授業改善に繋がるとされています。

最近では、これまでのような叱咤激励をする「支配型」のリーダーではなく、「支援型」のリーダーとしての取組が注目されています。そのことをサーバントリーダーシップといい、情報を一方的に伝えるのではなく、みんなの情報を引き出し、まとめて提案するという考え方がです。いろいろな人たちからのアイデアのほうが量も多く質も高まります。自分には気づかないこともたくさんあるので、自分も学ぶことができます。学校ではサーバントリーダーシップを推進することで、子どもたちがエージェンシーを身に付けることができ、校長を含めた教職員も共に成長することができるのです。子どもに対して上から目線では、子どもも自分も何も学ぶことができません。ご家庭においても同じだと思います。子どもが主体的に考え、行動することができるようにするためには、保護者も支援型のリーダーとなる必要があります。

人を育てることや動かすことは難しいと言われていますが、私の好きな言葉に次のようなものがあります（この度の、へき地校体験実習の学生2人にも贈った言葉です）。

「**やってみせ 言って聞かせてさせてみて 誉めてやらねば 人は動かじ**
話し合い 耳を傾け承認し 任せてやらねば 人は育たず
やっている 姿を感謝で見守って 信頼せねば 人は実らず」

これは、昭和期の海軍軍人で連合艦隊司令長官を務めた、山本五十六（やまもといそろく）の言葉です。多くの部下を統率してきた経験から学んだ格言として、人生訓にして手紙に残していたものだそうです。

子どもが言うことを聞かないときには、言い聞かせるのではなく、普段から褒めて、任せて、信頼してあげる関係をつくっておかなければなりません。

今こそ学校が変わるとき。管理職を含めた教職員がエージェンシーやファシリテーション技能、サーバントリーダーシップをしっかりと身に付けて、学校教育を進めていかなければならないと考えています。

※ファシリテーター：○物事を容易にできるようにする人や物。また、世話人 ○集会・会議などで、テーマ・議題に沿って発言内容を整理し、発言者が偏らないよう、順調に進行するように口添えする役。ファシリテーションとは、これらの技能のこと。

一日防災学校、避難訓練

8月30日（水）本年度は南富良野町の水害対策についてフィールドワークを実施しました。かつての大水害を経験した南富良野町の河川整備や、水位上昇に関する情報をいち早くキャッチし、避難行動につなげるための数々の対策について、現地まで足を運んで見学しました。また、8月29日（木）には、南富良野消防署の方にお越しいただき、北海道シェイクアウトと連動した地震の避難訓練も実施しました。子どもたちに素早い避難の意識が身に付いてきました。

様々な体験活動

【ブルーベリー加工体験】

9月2日（土）、土曜授業の一環でブルーベリー加工体験として、ジャムとゼリーを作りました。班ごとにわかれて鍋にいったブルーベリーを煮詰めてジャムを作る活動と、班の代表が別室でゼリー作りをしました。最後には、完成したジャムをパンやクラッカーにのせて食べました。とてもおいしかったようで、喜びに溢れていました。自分で摘み取り、食べるものを作る一連の活動を通して、食の営みについて学びました。

【稲刈り体験】

9月20日（水）は、永井さんの田んぼに植えた稲を刈り取りました。子どもたちは慣れない鎌を使いながら、稲の束を握って、一気に刈り取っていました。稲の分けつ具合も良好で、低学年の子には一握りではつかめないくらいの束になっていました。刈り取る時の音やサクッと切れる感触を味わいながら、楽しく稲刈りを体験しました。刈り取った稲はジャングルジムで乾燥させ、10月17日（火）に脱穀予定です。



児童会選挙

9月14日（木）、後期児童会役員選挙を行いました。まず、南富良野西小学校をよりよくするために立候補者から演説がありました。「学校を明るく楽しくする」ことを公約とし、それぞれの思いを述べました。投票の結果、

児童会会長 羽野 凜音さん
 児童会副会長 高坂 檜さん
 児童会書記 羽野 優奏さん

が決定しました。児童会の活動を通して、「有言実行」の大切さや、企画、実行の過程など多くのことを学んでほしいです。

へき地校体験実習

北海道教育大学旭川校の教育実習生2名を迎えて9月11日（月）から5日間、教育実習が行われました。3・4年生学級、5・6年生学級にそれぞれ配属し、子どもたちと関わりながら教職について学びを深めました。子どもたちにとっても貴重な体験となりました。



10月行事予定

日	曜日	学校行事
1	日	ノーゲームデー
2	月	マラソン記録会予備日
4	水	研究大会のため午前授業 【下校12:20】
5	木	第3回PTA会議
6	金	児童会
9	月	スポーツの日
10	火	読み聞かせ
11	水	視力検査（低学年）、クラブ
12	木	食育指導
13	金	職員会議
14	土	土曜授業、人権教室
15	日	ノーゲームデー
17	火	脱穀体験
20	金	児童会 SC 来校
23	月	学芸会特別時間割開始
25	水	学芸会演目説明会
27	金	町教研作品展示
28	土	南富良野町小中学生作品展 みなくる11月11日まで

指導主事訪問

校内研修では、現在、西小スタンダードに基づくよりよい学び方について研修しています。9月26日（火）、3・4年生学級で国語の研究授業を公開しました。上川教育局学校教育指導主事の蒔田和樹様が来校し、本校の学習活動の参観とご助言をいただきました。3・4年生は課題解決のために学習リーダーを中心に物語文の読み取りを進めていました。気付いたことや分かったことを積極的に発表、交流し学びを深めていました。



10月5日（木）は、第3回PTA会議です。18:30より、南富良野西小学校ホールで行います。議題は学芸会、脱穀体験、もちつき集会等となっております。保護者の皆様、よろしくお願いたします。